

陽気な殿様（1962）

メディア 映画

ジャンル 時代劇 コメディ

製作国 日本

色彩 Color

初公開日 1962/12/15

【解説】

五味康祐の同名小説を「江戸へ百七十里」の笠原良三（脚本）と森一生（監督）が映画化した明朗快活なコメディ時代劇。出演は市川雷蔵、宇津井健、天知茂など。坪内ミキ子のデビュー作でもある。

男前で腕に覚えあり、下世話にも通じた庶民的な若様の榊原隼之介。年頃の隼之介は家督相続のため江戸を発つが、大工の八五郎と鳶の三次を連れて気ままな旅に出してしまう。いきなり斬りかかってきた浪人の拳手田多門、唐突に横っ面をひっぱたいてきた吞水和尚、埋蔵金のありかを示す絵図面を体に彫り込まれた腰元の八重、そして夫が闇討ちに遭ってしまったゆきなど、様々な人物と巡り会いながら隼之介は旅を続けるのだった。

【クレジット】

監督 森一生

企画 久保寺生郎

原作 五味康祐

脚本 笠原良三

撮影 今井ひろし

美術 下河原友雄

音楽 斎藤一郎

出演 市川雷蔵

坪内ミキ子

高田美和

宇津井健

小林勝彦

天知茂

藤原礼子